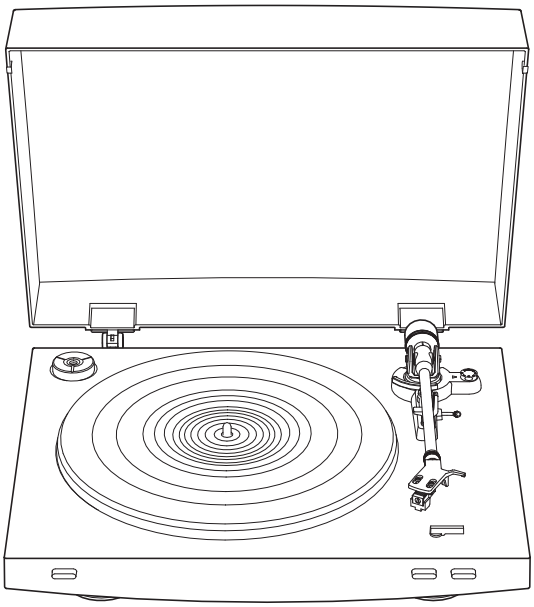
AT-LP3

取扱説明書

フルオートターンテーブル



audio-technica

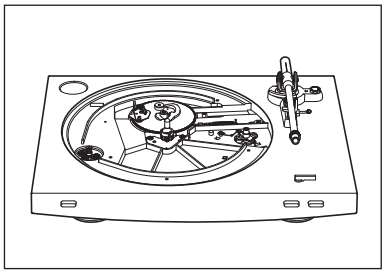
はじめに

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

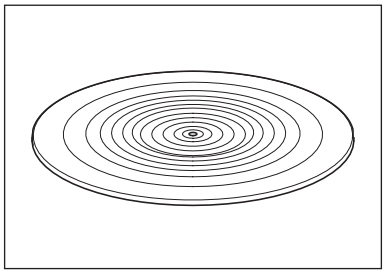
本製品は日本国内のみで使用できます。

同梱品の確認

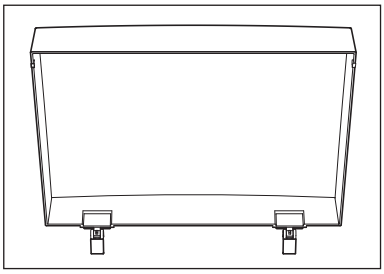
本製品をご使用になる前に、下記同梱品がすべてそろっていることを確認してください。
万一、同梱品に不足や損傷がある場合は、お買い上げの販売店または当社窓口までご連絡ください。



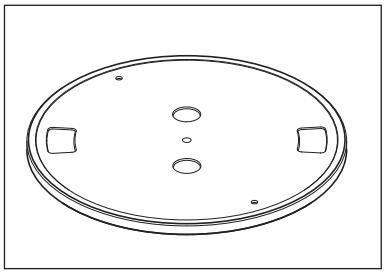
・ターンテーブル本体



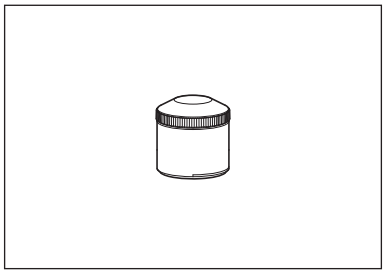
・ラバーマット



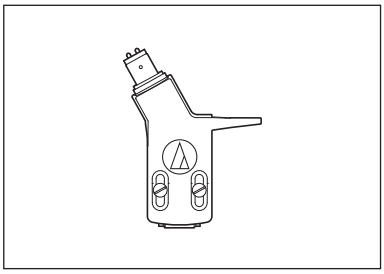
・ダストカバー



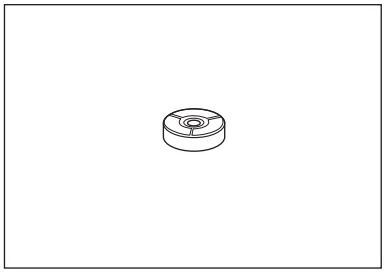
・プラッター（ドライブベルト付き）



・カウンターウェイト



・VM型ステレオカートリッジ（AT91R）付き
ヘッドシェル（AT-HS3）



・EPアダプター

・電源ケーブル
・取扱説明書（本書）
・保証書

ご購入後、保管、移動、輸送する場合に備え、すべての梱包材を保管しておくことをおすすめします。

安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。
事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

⚠ 警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
⚠ 注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本製品について

⚠ 警告

- **付属の電源ケーブル以外使用しない**
  電流容量などの違いにより、火災・感電の原因になります。
  また、故障・不具合の原因になります。
- **異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気付いたら使用しない**
  異常に気付いたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店に連絡してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
- **火気に近付けない / 火の付いたキャンドルなどを上に置かない**
  火災の原因になります。
- **分解や改造はしない**
  感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **強い衝撃を与えない**
  感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **濡れた手で触れない**
  感電によるけがの恐れがあります。
- **水をかけない / 水滴や水しぶきのかかる場所に置かない**
  感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **本製品に異物（燃えやすい物、金属、液体など）を入れない**
  感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **じゅうたんや布などで覆わない**
  過熱による火災など事故の原因になります。
- **同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない**
  事故や火災の原因になります。

⚠ 注意

- **不安定な場所に置かない**
  本製品の落下などにより、けがや故障の原因になります。
- **換気の良い場所に置く**
  本製品を換気の悪い場所に置くと、熱がこもり、火災など事故の原因になります。ラックなどに入れるときは、放熱をよくするために本製品の周りに隙間を空けてください。
- **直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない**
  感電によるけがや、火災など事故の原因になります。また、故障、不具合の原因になります。
- **本製品の上に物（花瓶・植木鉢・水の入ったコップ・金属など）を置かない**
  万一、倒れた場合、感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **ベンジン、シンナー、接点復活保護剤など薬品は使用しない**
  変形、故障の原因になります。

安全上の注意

電源ケーブルについて

⚠ 警告

- **表示している電源電圧以外で使用しない**
  過熱による火災など事故の原因になります。
- **本製品以外には使用しない**
  電流容量などの違いにより、火災・感電の原因になります。また、故障・不具合の原因になります。
- **異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気付いたら使用しない**
  異常に気付いたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店に連絡してください。
  そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
- **ケーブルは釘などで固定しない、束ねたまま使用しない**
  過熱による火災など事故の原因になります。
- **コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む**
  過熱による火災など事故の原因になります。
- **ケーブルを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする**
  断線、故障の原因になります。
- **ケーブルの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない**
  感電によるけがの恐れがあります。
- **分解や改造はしない**
  感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **強い衝撃を与えない**
  感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **濡れた手で触れない**
  感電によるけがの恐れがあります。
- **布などで覆わない**
  事故や火災の原因になります。
- **プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る**
  長い間掃除をしないと、火災など事故の原因になります。
- **すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるようにする**
  万一の事故防止のため、本製品をコンセントの近くに置き、すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるようにしてください。

⚠ 注意

- **長時間使用しないときは、コンセントから抜く**
  火災の原因になることがあります。安全のため、必ずコンセントから抜いてください。
  また、省エネルギーにご配慮ください。
- **足に引っ掛かりやすい場所にケーブルを引き回さない**
  故障や事故の原因になります。
- **ベンジン、シンナー、接点復活保護剤など薬品は使用しない**
  変形、故障の原因になります。

使用上の注意

ターンテーブル本体について

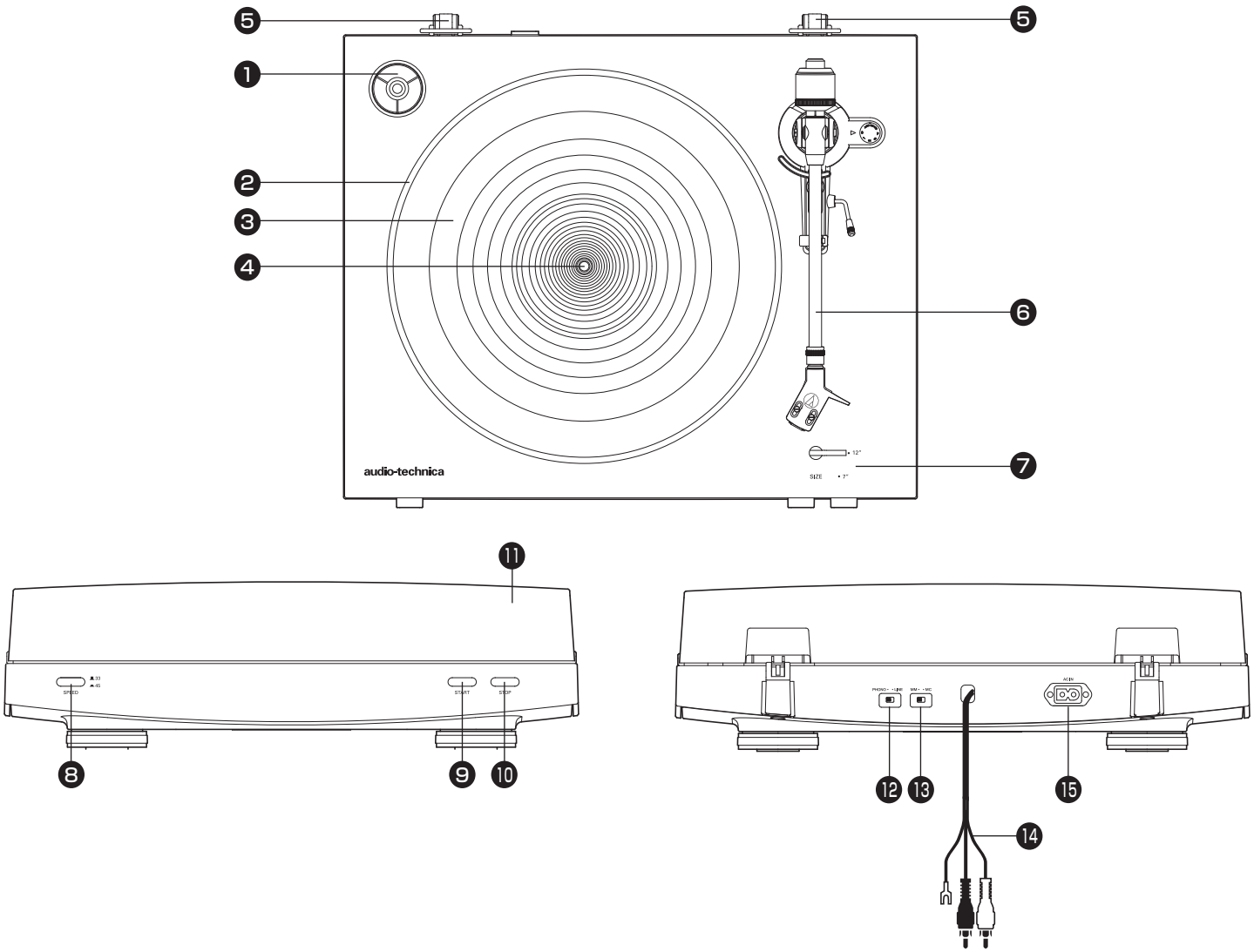
・温度や湿度の高い場所、ほこりの多い場所、大きな振動がある場所には本製品を設置したり使用しないでください。
・本製品は、傾きのない水平な場所に置いてください。

カートリッジについて

・本製品を使用しないときは、付属のプロテクターをカートリッジに取り付けてください。
・カートリッジの針を指で触れないでください。
・カートリッジの針をプラッター、ラバーマットやレコードの縁部にぶつけないでください。

各部の名称と機能

全体



❶ **EPアダプター/専用スペース**
EP盤を再生する際、スピンドルに差し込みます。

❷ **プラッター**

❸ **ラバーマット**

❹ **スピンドル**

❺ **ヒンジホルダー**
ダストカバーのヒンジを取り付けます。

❻ **トーンアーム部**
詳細は、「トーンアーム」(P.5)を参照してください。

❼ **サイズセレクター**
レコードの大きさによって、30cm(12")/17cm(7")に切り換えます。

❽ **回転数セレクター**
プラッターの回転数(33⅓回転/分または45回転/分)の選択をします。

❾ **STARTボタン**
プラッターが回転し、トーンアームが移動します。

❿ **STOPボタン**
トーンアームが元の位置に戻り、プラッターが停止します。

⓫ **ダストカバー**

⓬ **PHONO/LINE切換スイッチ**
PHONO入力端子のあるアンプを使用する場合、PHONO側に設定します。アンプのAUX端子などに接続する場合は、LINE側に設定します。

⓭ **MM(VM)/MC型カートリッジ切換スイッチ**
MM(VM)型カートリッジを使用する場合、MM側に設定します。MC型カートリッジを使用する場合は、MC側に設定します。

⓮ **RCAオーディオコード(アース線付き)**
接続機器のPHONO端子またはAUX(LINE)端子に接続します。

⓯ **ACインレット**
電源ケーブルを接続します。

各部の名称と機能

トーンアーム

❶ **カウンターウェイト**
トーンアームのバランスを取り、適切な針圧に調整します。

❷ **針圧調整リング**
針圧を調整する際に使用します。

❸ **アームリフター**
トーンアームをレコード盤面から上下させます。

❹ **アームレスト**

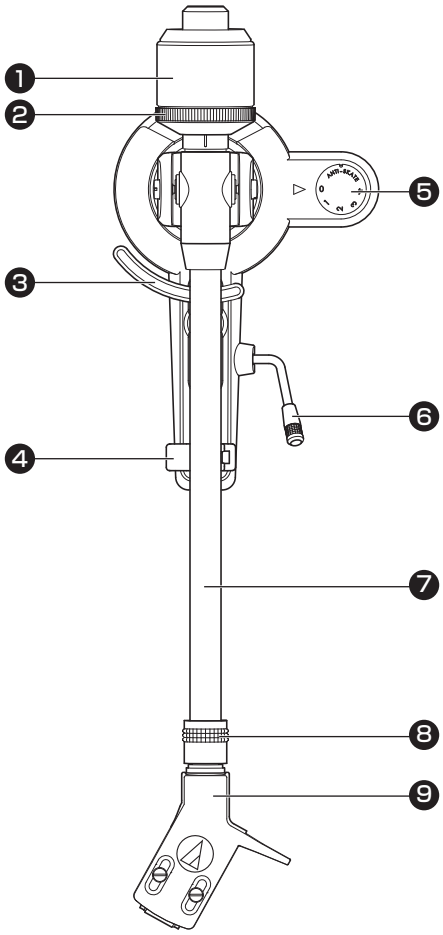
❺ **アンチスケーティング調整ダイヤル**
レコードの再生中、針先が内側へ引っ張られる力が発生します。アンチスケーティングの値を針圧値と同じに設定することで、その力に抵抗します。

❻ **リフターレバー**
アームリフターを操作します。

❼ **トーンアーム**

❽ **ロックナット**
リング部を反時計方向（左）に回すと、ヘッドシェルが固定されます。ヘッドシェルを外すには、リング部を右に回転させます。

❾ **ヘッドシェルとカートリッジ**
ヘッドシェル（AT-HS3）に、カートリッジ（AT91R）が付いています。



使用前の準備

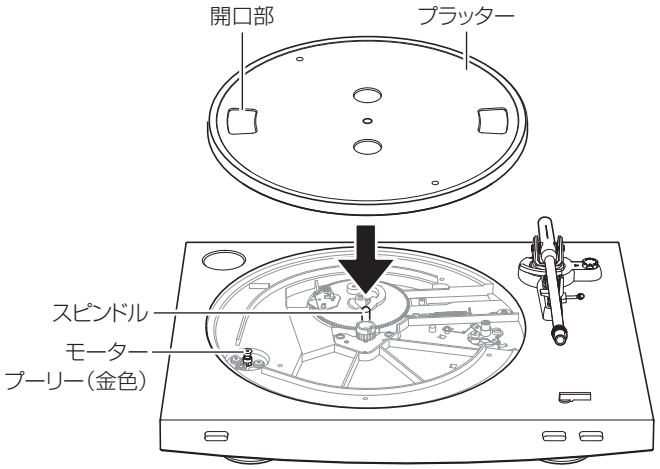
設置する

- 水平な場所に設置してください。
- 音圧や振動の影響を避けるため、スピーカーなどから離して設置してください。
- ラジオなどを本製品に近づけると、ラジオに雑音が入る場合があります。できるだけ本製品から離してください。
- 本製品の近くに強い電波を発生させる機器（携帯電話など）があると、ノイズが発生する場合があります。

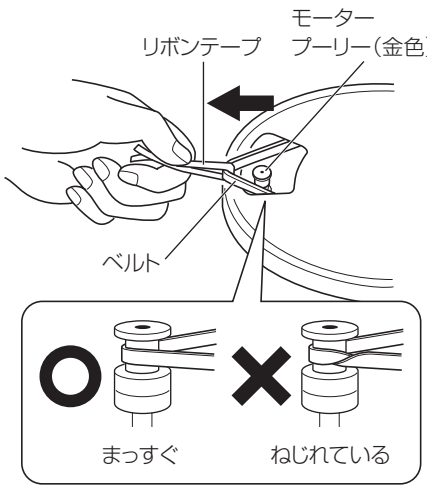
プラッターとラバーマットを取り付ける

本製品は、初めてご使用になる前に組み立て作業が必要です。
組み立てが終わるまでは電源ケーブルを接続しないでください。

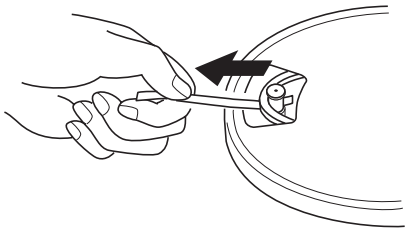
1. **プラッターをスピンドルに取り付けます。**
   - プラッターがスピンドルに確実に取り付けられたことを確認します。



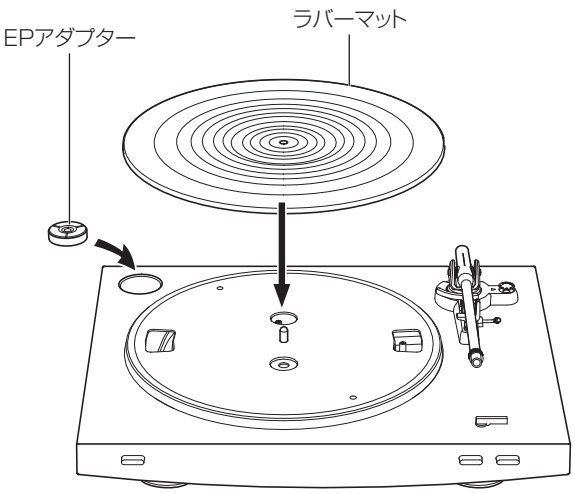
2. **モータープーリー（金色）にベルトをかけます。**
   - 開口部をモータープーリー（金色）に合わせ、あらかじめベルトに取り付けてある、赤いリボンテープの両端を引っ張りながら、図のようにモータープーリー（金色）にベルトをかけます。その際、ベルトがねじれないように注意してください。



3. **ベルトからリボンテープを引き抜きます。**



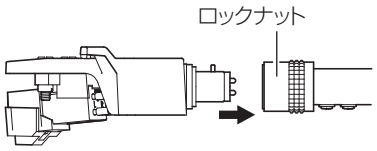
4. **ラバーマットをプラッターの上に取り付けます。**
   - 取り付けた後、EPアダプターを左上の専用スペースに設置してください。



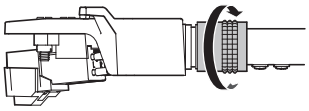
使用前の準備

トーンアームを組み立てる

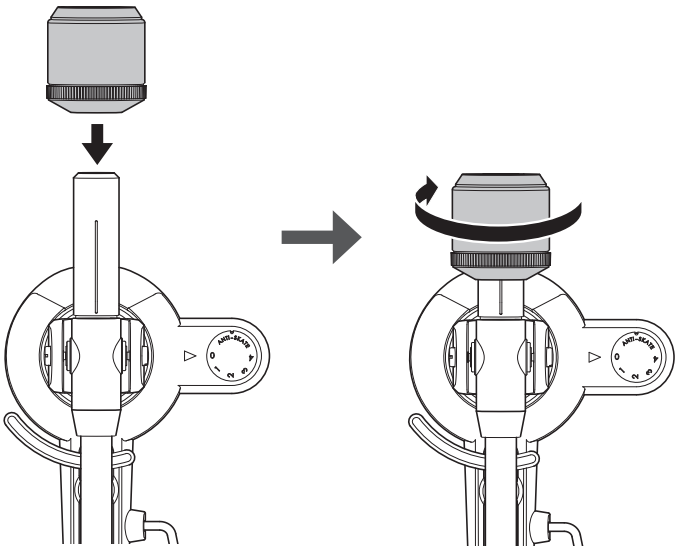
1. **ヘッドシェルをロックナットに差し込みます。**
   - 針を傷めたりカートリッジの配線を切らないように、ヘッドシェルの左右の縁部を持ってください。



2. **ヘッドシェルを差し込んだまま、ロックナットを反時計方向(左)に回します。**



3. **トーンアームの後部にカウンターウェイトを取り付けて反時計方向(左)にゆっくり回します。**



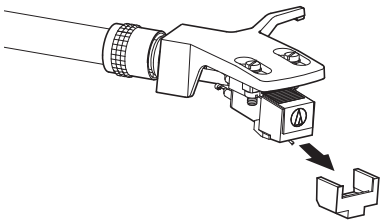
トーンアームの水平バランスと針圧の調整について

カートリッジがレコードの溝から正確に音を拾うために、カートリッジの仕様に合わせて、トーンアームの水平バランスと針圧を調整する必要があります。トーンアームの水平バランスと針圧調整が不充分だと、カートリッジの針やレコードを傷める恐れがあります。

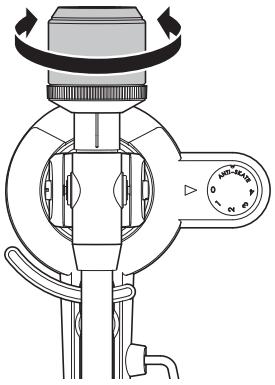
- 水平バランスと針圧の調整を行っているとき、ラバーマットやレコードの上でカートリッジの針を引きずらないでください。針を傷つける恐れがあります。

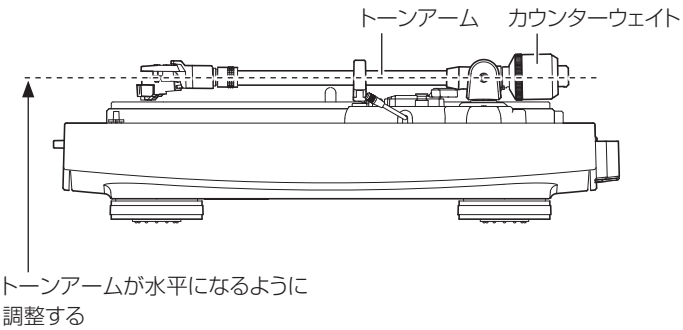
水平バランスを調整する

1. **カートリッジのプロテクターを取り外します。**



2. **工場出荷時の、トーンアーム固定用結束バンドを外します。**
3. **ヘッドシェルを軽く持ったままカウンターウェイトを回してトーンアームの水平バランスを調整します。**
   - 手を離したときにトーンアームが水平になるように調整してください。



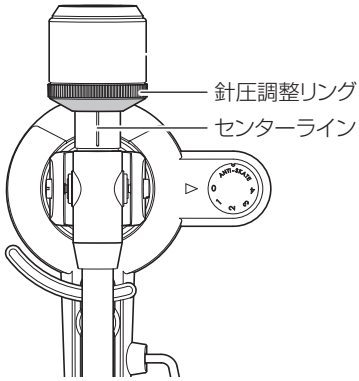


4. **トーンアームをアームレストに戻します。**

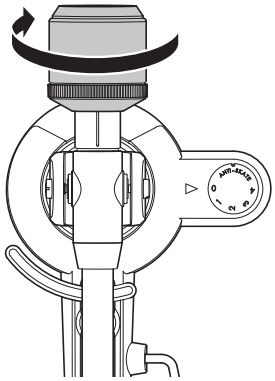
使用前の準備

針圧を調整する

1. **カウンターウェイトが動かないように押さえながら、針圧調整リングの「0」の位置がトーンアーム後部のセンターラインと重なるように回します（針圧調整リングを回しても針圧は調整されません）。**



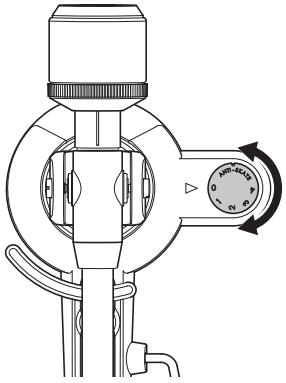
2. **カウンターウェイトと針圧調整リングを反時計方向（左）に回して、ご使用のカートリッジの推奨針圧値に合わせます。**
   - 推奨針圧値については、カートリッジメーカーの仕様を参照してください。
   - 本製品付属のカートリッジの針圧値は2.0gです。



アンチスケーティングを調整する

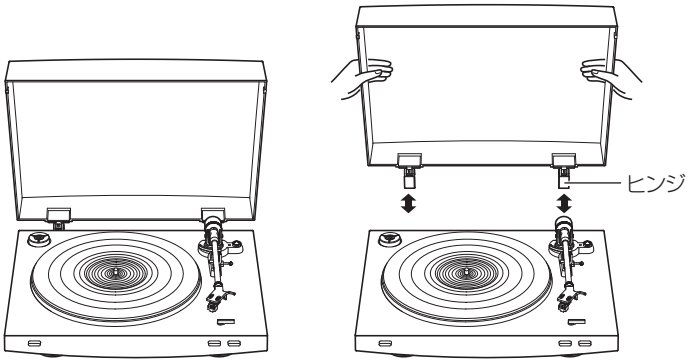
レコードの再生中、針先が内側へ引っ張られる力が発生します。アンチスケーティングの値を針圧値と同じに設定することで、その力に抵抗します。

1. **アンチスケーティング調整ダイヤルを針圧値と同じ値に調整します。**
   - 本製品付属のカートリッジの針圧値は2.0gです。



ダストカバーの取り付け／取り外し

ダストカバーを取り付ける際は、ダストカバーのヒンジを、本体背面の2つのヒンジホルダーに差し込みます。ダストカバーを取り外す際は、ヒンジホルダーからダストカバーをゆっくり抜きます。



MM（VM）/MC型カートリッジ切換スイッチの設定

MM（VM）型カートリッジを使用する場合、MM側に設定します。MC型カートリッジを使用する場合は、MC側に設定します。

- お買い上げ時はＭＭ側に設定されています。付属のカートリッジ（AT91R）はVM型ステレオカートリッジのため、スイッチはMM側のままで使用してください。

PHONO/LINE切換スイッチの設定

本製品は、フォノイコライザー機能を内蔵しています。フォノアンプまたはフォノアンプ内蔵の接続機器をお持ちでない場合でも、アクティブスピーカーなどをつないで本製品を使用できます。
PHONO/LINE切換スイッチを使用して、以下のように出力を設定してください。

使用する接続機器	PHONO/LINE切換スイッチの位置	RCAオーディオコードの接続先
PHONO入力がある機器	PHONO	接続機器のPHONO入力端子とグランド（アース）端子
PHONO入力がない機器	LINE	接続機器のAUX端子またはLINE入力端子
パソコンのサウンドカード	LINE	サウンドカードのLINE入力端子[*1]

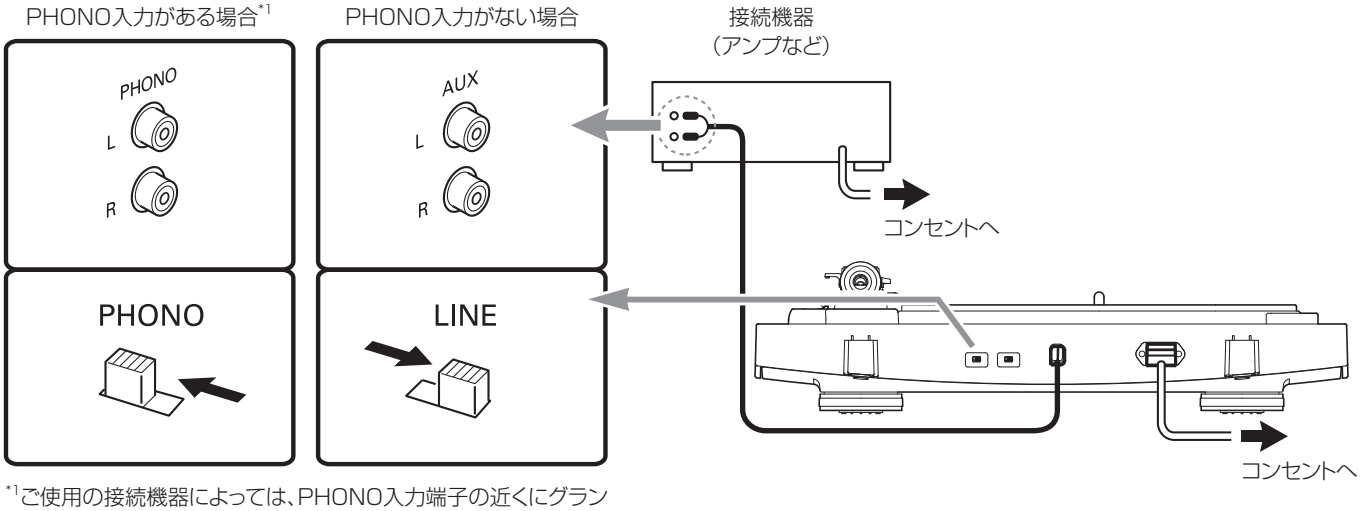
[*1] RCAオーディオコードをパソコンのサウンドカードのLINE入力端子に接続するには、オーディオアダプター（別売）が必要な場合があります。

使用前の準備

接続機器との接続

PHONO/LINE切換スイッチの設定に合わせて、ご使用の接続機器（アンプ、レシーバー、アクティブスピーカー、サウンドカードまたはその他の機器）の対応する入力端子に、RCAオーディオコードを接続します。

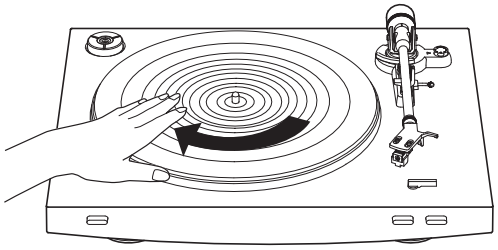
・RCAオーディオコードの赤色端子が右（R）チャンネル、白色端子が左（L）チャンネルです。



*1ご使用の接続機器によっては、PHONO入力端子の近くにグランド（アース）端子が搭載されている場合があります。その場合は、RCAオーディオコードのアース線で接続します。レコード再生時のノイズ（ブーンという低い雑音のハム音）が少なくなることがあります。

プラッターを回転させる

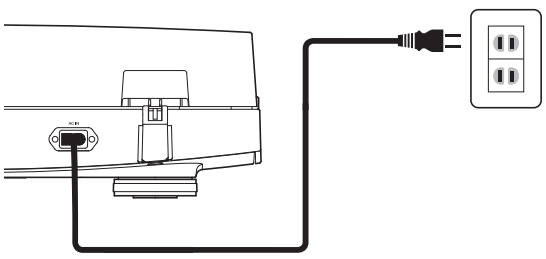
1. **手でプラッターを10回転させます。**
   - リフターレバーでトーンアームを上げます。手でターンテーブルをゆっくり矢印の方向に10回転させてください。
   - トーンアームが動くことがありますのでご注意ください。この作業は、ベルトの歪みをなくし、プラッター中央にベルトが滑らかにかかるようにするためです。



電源ケーブルの接続

本製品に電源スイッチはありません。使用しないときも待機電流が流れていますので、長時間ご使用にならないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。

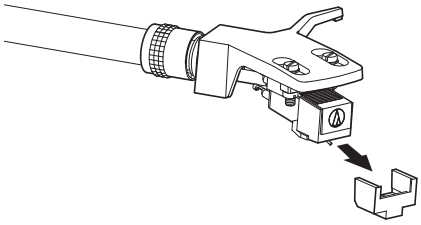
1. **電源プラグをコンセントに差し込みます。**
   - 安全のため、リフターレバーを持ち上げて、トーンアームをあげておいてください。
   - カートリッジのプロテクターは取り外さずに、電源プラグをコンセントに差し込んでください。もしプラッターが回転した場合は、トーンアームに触れずにSTOPボタンを押し、トーンアームが元の位置に戻るまでお待ちください。
   - 本製品は電源プラグをコンセントに差した後、すぐにレコードを再生しようとすると、再生音が乱れる場合があります。電源プラグをコンセントに差した後、しばらくしてから（約30秒後）レコードを再生してください。



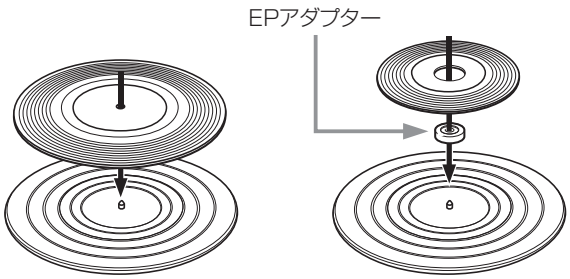
使いかた

再生の前に

1. **カートリッジのプロテクターを外します。**
   - まっすぐ手前に引き抜いてください。
   - 下方向に力が加わると、針が本体から外れてしまう場合があります。針が外れた場合や外れかかっている場合は小さな音しか出ないため、「針交換のしかた」(P.11)を参照して、針を正しく取り付け直してください。



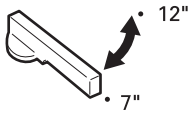
2. **レコードを、中心の穴がスピンドルに合うようにラバーマットの上に乗せます。**
   - EPレコードの場合は、EPアダプターを取り付けてください(下図右側参照)。



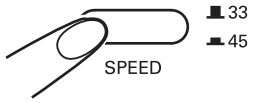
オート再生のしかた

アンプやスピーカーなどの音量を充分小さくしておいてください。

1. **サイズセレクターでサイズを選択します。**
   - 直径30cmのLPレコードの場合は「12"」、直径17cmのEPレコードの場合は「7"」を選択してください。



2. **回転数セレクターを押して回転数を選択します。**
   - 33-⅓回転レコードの場合は「33」、45回転レコードの場合は「45」を選択してください。



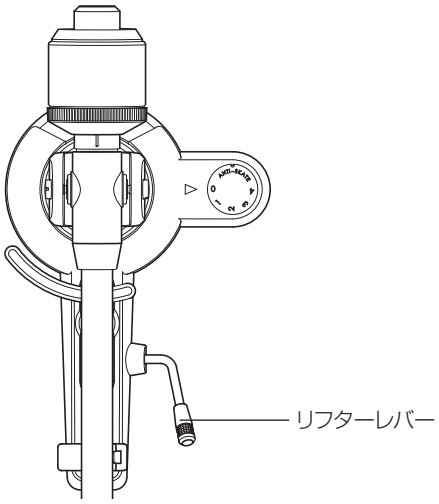
3. **STARTボタンを押します。**
   - 再生中は本製品に衝撃などを与えないでください。
   - 再生中にサイズセレクターでサイズを変更しないでください。故障の原因になります。



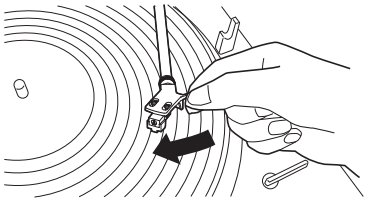
マニュアル再生のしかた

アンプやスピーカーなどの音量を充分小さくしておいてください。

1. **リフターレバーを持ち上げ、トーンアームを上げます。**



2. **レコードの聴きたい位置(溝)の上にトーンアームを移動させます。**



3. **リフターレバーを下げ、トーンアームを降ろします。トーンアームがレコード盤面までゆっくり降り、再生が開始されます。**
   - 上記の手順1～3を飛ばし、ヘッドシェルを指で持ち上げて、トーンアームをレコードの聴きたい位置に移動させ、降ろして再生を開始することもできます。
   - 再生中は本製品に衝撃などを与えないでください。

再生を中断する

1. **アンプやスピーカーなどの音量を充分小さくした後、リフターレバーでトーンアームを上げます。**

使いかた

停止する

レコードが最後まで再生されると、トーンアームは自動的にアームレストに戻ります。
手動で停止する場合は以下のとおりです。

1. **アンプやスピーカーなどの音量を充分小さくします。**
2. **STOPボタンを押します。**
   - 再生が終了すると、トーンアームは自動的にアームレストに戻ります。



3. **プラッターが完全に停止した後、レコードを取り外します。**

- プラッター回転中にトーンアームを中心に近づけると、トーンアームはアームレストに戻ろうとしますが、これを無理に止めないでください。故障の原因になります。トーンアームがアームレストに戻らないときは、STOPボタンを押すと自動的に戻ります。
- ラバーマットが汚れているとレコードに傷が付きやすくなりますので、定期的にラバーマットを取り外して、ホコリなどを払ってください。
- 使用後は、レコードの傷付きや反りを防止するため、レコードを取り外してください。
- ディスクスタビライザーは使用しないでください。
- 付属品以外のプラッターは使用しないでください。
- 本製品はDJ用ではありません。再生中のレコードやプラッターには触れないでください。

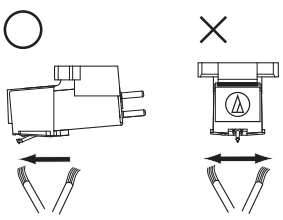
お手入れ

本体のお手入れ

- 汚れたときやほこりが付いたときは電源プラグを抜いてから、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- 長い間保存するときには、電源プラグをコンセントから抜き、機器をビニールなどで包み、湿気を帯びないようにしてください。

カートリッジの針先のお手入れ

- 針先にごみや汚れが付着した場合は、市販のブラシできれいにしてください。
- 汚れがひどい場合は、スタイラスクリーナー（別売）をおすすめします。根元から針先へ向かってブラシを動かしてクリーニングしてください。

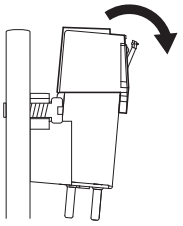


針交換のしかた

交換針の取り外しかた

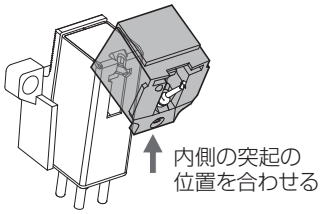
- カートリッジの針先が磨耗すると音質が悪くなるばかりでなく、レコードを傷める原因になります。
- 再生時間は300～500時間を目安に交換してください。
- 必ず本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。

1. **ヘッドシェルをトーンアームから取り外します。**
   - トーンアームをしっかりと押さえながら、ゆっくりとヘッドシェルを取り外してください。
2. **カートリッジからプロテクターを取り外します。**
3. **交換針を矢印の方向に引っ張って取り外します。**



新しい交換針の取り付けかた

1. **新しい交換針をカートリッジに取り付けます。**



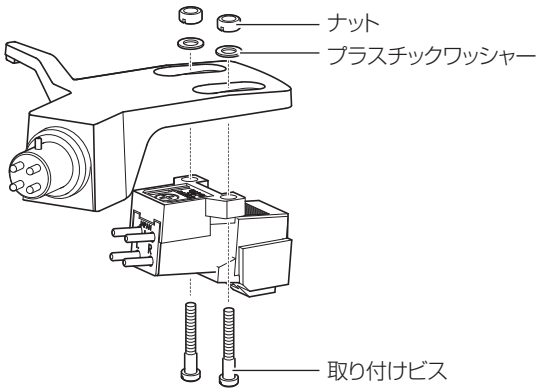
2. **カートリッジにプロテクターを取り付けます。**
3. **ヘッドシェルをトーンアームに取り付けます。**

カートリッジ交換のしかた

市販のカートリッジに交換する

本製品付属のカートリッジ(AT91R)以外の、市販のカートリッジに交換する場合、使用するカートリッジの取扱説明書を参照して交換してください。新しいカートリッジに交換した後、水平バランスや針圧、オーバーハングなどの調整を再度行う必要があります。

1. **ヘッドシェルをトーンアームから取り外します。**
   - トーンアームをしっかりと押さえながら、ゆっくりとヘッドシェルを取り外してください。
2. **カートリッジから交換針を取り外します。**
   - 「交換針の取り外しかた」(P.11)を参照してください。
3. **リードチップを取り外します。**
   - リード線が切れないように注意してください。
4. **取り付けビスを市販の非磁性マイナスドライバーなどで取り外して、カートリッジをヘッドシェルから取り外します。**
5. **新しいカートリッジの取扱説明書を参照し、カートリッジをヘッドシェルに取り付けます。**

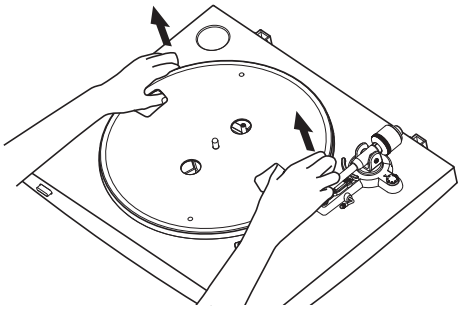


6. **2箇所のビスを市販の非磁性マイナスドライバーなどで緩めて、オーバーハングの調整をします。**
   - 「オーバーハングの調整」(P.13)を参照してください。
   - 調整終了後はビスを確実に締めてください。
7. **トーンアームに取り付けます。**
8. **水平バランスや針圧の調整を行います。**
   - 「トーンアームの水平バランスと針圧の調整について」(P.7〜)を参照して調整し直してください。

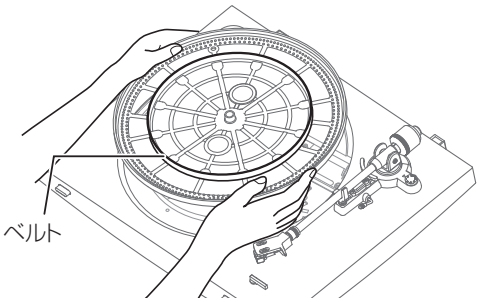
ベルト交換のしかた

- ベルトは消耗品です。再生速度が遅くなったり、回転ムラが発生した場合は、ベルトを交換してください。1年を目安に交換することをおすすめします。
- ベルト交換を行う前に、必ず本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。

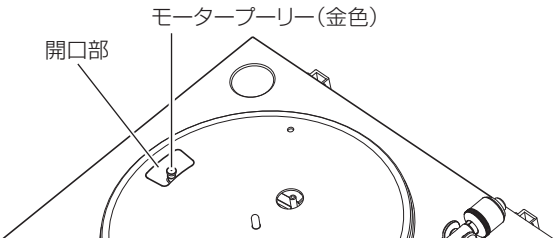
1. **ラバーマットを取り外します。**
2. **プラッターを取り外し、プラッターを裏返して古いベルトを取り外します。**
   - 開口部に親指をかけ、強く引き上げてください。



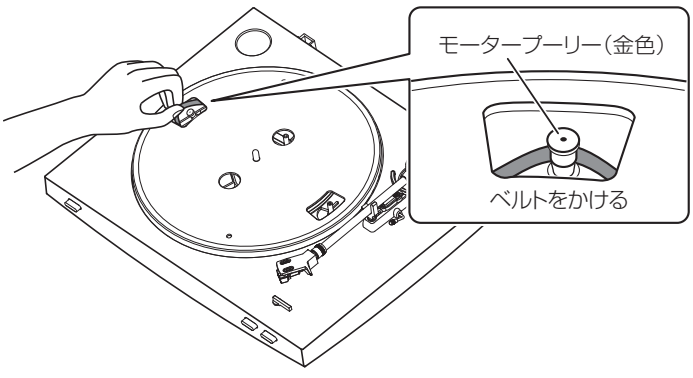
3. **内円部の外周に新しいベルトをかけます。**
   - 途中でベルトがねじれないように注意してください。



4. **プラッターを取り付けます。**
   - 開口部とモータープーリー(金色)の位置を合わせてください。



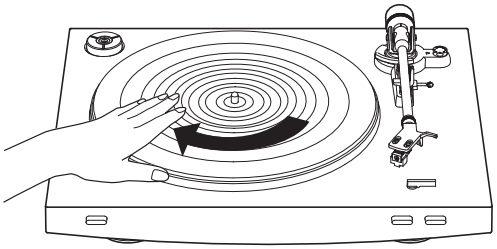
5. **モータープーリー(金色)にベルトをかけます。**
   - 手順3で取り付けたベルトをつまんで引っ張りながら、モータープーリー(金色)にかけてください。



ベルト交換のしかた

6. 手でプラッターを10回転させます。

・リフターレバーでトーンアームを上げます。手でターンテーブルをゆっくり矢印の方向に10回転させてください。



本製品を移動するときは

ご購入時の梱包材を使用して、開梱のときと逆の方法で梱包してください。
梱包材がない場合は、以下の対応を行ってください。

・電源プラグをコンセントから抜いた後、ラバーマットとプラッターを取り外し、傷が付かないように梱包してください。
・トーンアームをアームレストに紐などで結んで動かないようにしてください。
・カウンターウェイトを取り外します。
・カートリッジにプロテクターを取り付けた状態でヘッドシェルをトーンアームから取り外し、傷が付かないように梱包してください。
・ターンテーブル本体は、柔らかい布や紙などで傷が付かないように梱包してください。

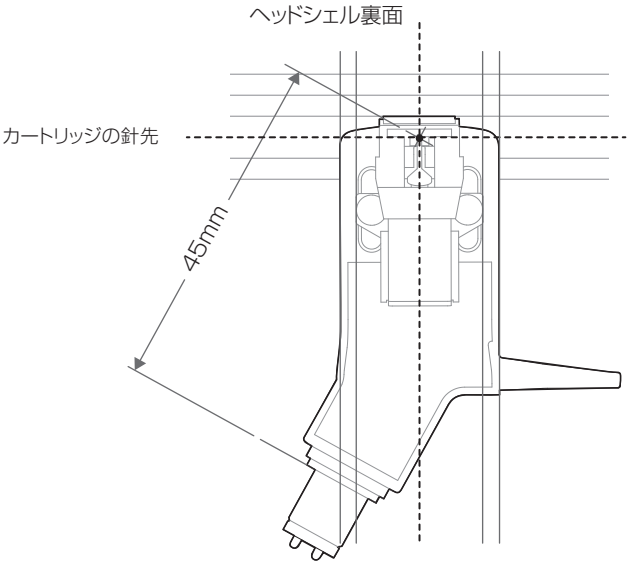
オーバーハングの調整

付属品以外のカートリッジやヘッドシェルを取り付ける際、カートリッジの取り付け位置を正確に決める必要があります（オーバーハングの調整）。

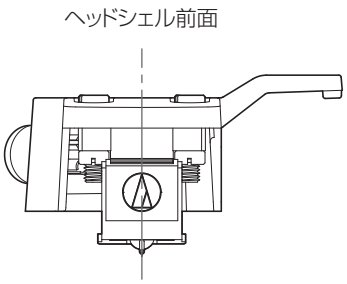
1. カートリッジをヘッドシェルに対して平行になるように取り付けます。

・下図にカートリッジとヘッドシェルの位置を合わせて、平行になるように取り付けてください。

オーバーハング調整ガイド
本イラストは実寸で表示されています。
下図にヘッドシェルを置いて、「カートリッジの針先」のラインに新しいカートリッジの針先が合うように調整してください。



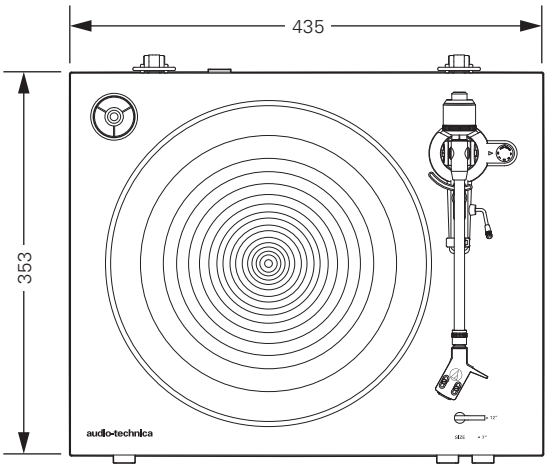
2. カートリッジをヘッドシェルに対して垂直になるように取り付けます。

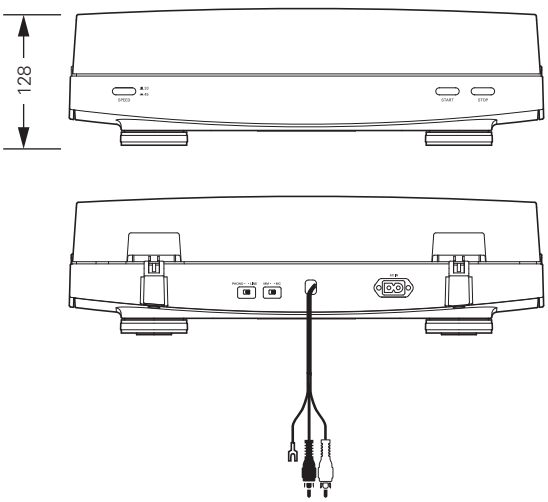


故障かな？と思ったら

問題	解決方法
プラッターが回転しない	• 電源プラグがコンセントから外れていませんか。電源プラグをコンセントに差し込んでください。 • ベルトがプラッターから外れていませんか。ベルトをプラッターに正しく取り付けてください。 • ベルトがモータープーリー（金色）にかけられていますか。ベルトがモータープーリー（金色）に正しくかけられているか確認してください。 • ベルトが切れていませんか。ベルトを新品に交換してください。
プラッターは回るが、音が出ない、または音量が小さい。	• アンプなど接続機器の機能設定や入力の選択が間違っていませんか。接続機器の設定が適切か確認してください。 • 針が損傷していませんか。針を確認し、交換してください。 • 針がカートリッジ本体に正しく装着されていますか。カートリッジを確認し、調整してください。 • PHONO/LINE切換スイッチの設定位置が間違っていませんか。アンプの入力に合った正しい設定がされていることを確認してください。 - 音が出ない場合や音量が小さい場合は、本製品が「PHONO」側に設定され、アンプのAUX/LINE入力に接続されています。 - 音量が大きすぎる場合や歪んでいる場合は、本製品が「LINE」側に設定され、接続機器がPHONO入力に接続されています。 • 針圧が大きすぎませんか。針圧を調整してください。
針とびを起こす	• 針圧が小さすぎませんか。針圧を調整してください。 • アンチスケーティングの調整が不充分ではありませんか。アンチスケーティングがカートリッジの針圧と同じ値に設定されているか確認してください。 • レコードが反っていませんか。レコードを確認してください。 • レコードに傷が付いていませんか。レコードを確認してください。
ハウリングが生じる	• 本製品が、床、壁面、または近くのスピーカーから過度に振動を拾っていませんか。振動を小さくするか、振動の影響を受けない場所に本製品を置いてください。 • 本製品が不安定な場所に設置されていませんか。設置場所が適切か確認してください。
レコードの再生音にノイズが生じる	• カートリッジの針先にほこりが付いていませんか。付いている場合は、市販のブラシできれいにしてください。
レコードの再生音が速すぎる、または遅すぎる。	• 本製品の回転数の設定が間違っていませんか。回転数セレクターで、再生するレコードの種類に合った正しい回転数を選択してください。
再生速度が遅くなる、または回転ムラがある。	• ベルトが伸びていませんか。ベルトを新品に交換してください。
再生中にブーンという音が入る	• アース線が正しく接続されていますか。アース線を確認してください。 • ヘッドシェルがトーンアームにしっかりと固定されていますか。ロックナットを確認してください。

外形寸法図





テクニカルデータ

ターンテーブル本体の仕様

型式	ベルトドライブフルオートターンテーブル
駆動モーター	直流モーター
駆動方式	ベルトドライブ方式
回転数	33-1/3または45回転/分
ターンテーブルプラッター	アルミダイキャスト製
ワウフラッター	< 0.2% WRM(33回転時)
SN比	> 60dB
出力レベル 「PHONO」 「LINE」	 標準値3.5mV(1kHz、5cm/秒) 標準値220mV(1kHz、5cm/秒)
PHONOプリアンプゲイン(MM) PHONOプリアンプゲイン(MC)	標準値36dB、イコライザー特性RIAA 標準値56dB、イコライザー特性RIAA

トーンアームの仕様

種別	スタティックバランス式ストレート型トーンアーム
有効長	221.5mm
オーバーハング	19mm
最大トラッキングエラー角	3°未満
針圧調整範囲	1～4g
使用可能なカートリッジ質量範囲(ヘッドシェルを含む)	14.5～20g

カートリッジとヘッドシェルの仕様

カートリッジ型式	AT91R
カートリッジ種別	VM型(デュアルマグネット)ステレオカートリッジ
推奨負荷インピーダンス	47kΩ
出力電圧	3.5mV(1kHz、5cm/秒)
針先形状	0.6mil接合丸針
カンチレバー	アルミニウムパイプ
針圧の範囲	1.5～2.5g(標準値2g)
カートリッジ質量	5g
ヘッドシェル型式	AT-HS3
ヘッドシェル質量	11.1g
ヘッドシェルオーバーハング調整範囲	±8mm

一般仕様

電源条件	AC 100V、50Hz/60Hz
消費電力	2W
外形寸法	435mm×353mm×128mm (幅×奥行き×高さ)
質量	5.2kg
付属品	ラバーマット、ダストカバー、プラッター(ドライブベルト付き)、カウンターウェイト、VM型ステレオカートリッジ(AT91R)付きヘッドシェル(AT-HS3)、EPアダプター、電源ケーブル
交換針	ATN91R
交換ヘッドシェル	AT-HS3
交換ベルト	AT-LP3用ベルト

改良などのため予告なく変更することがあります。

お問い合わせ

アフターサービスについて

本製品をご家庭用として、取扱説明や接続･注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間･規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

お問い合わせ先(電話受付／平日9:00～17:30)

製品の仕様･使いかたや修理･部品のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。

･お客様相談窓口(製品の仕様･使いかた) 0120-773-417
(携帯電話･PHSなどのご利用は　03-6746-0211)
FAX:042-739-9120　Eメール:support@audio-technica.co.jp

･サービスセンター(修理･部品) 0120-887-416
(携帯電話･PHSなどのご利用は　03-6746-0212)
FAX:042-739-9120
Eメール:servicecenter@audio-technica.co.jp

･ホームページ(サポート)　www.audio-technica.co.jp/atj/support/

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1
www.audio-technica.co.jp
©2016 Audio-Technica Corp.
162501084-01-01　ver.1 2016.12.16